



令和5年3月17日

福岡市政記者各位

経済観光文化局文化振興課

## 福岡市文化賞・福岡市民文化活動功労賞 受賞者の決定及び贈呈式の開催について

令和4年度福岡市文化賞及び福岡市民文化活動功労賞の受賞者が決定しました。贈呈式を下記のとおり行いますのでお知らせいたします。ぜひ、取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

### 福岡市文化賞

芸術を中心とした福岡市の文化の向上発展に貢献し、特にその功績が顕著な個人、団体を表彰することにより、市の芸術文化活動の推進を図ります。

【制度創設】昭和51年度（今年で第47回目）

【受賞者累計】166名5団体（令和3年度まで）

【受賞基準】本市の文学、音楽、美術及びその他の芸術芸能等の向上発展に貢献し特にその功績が顕著であるもの

#### 令和4年度受賞者

【能楽】 さかくち のぶお  
**坂口 信男**

【生活文化（照明デザイン）】

まつした みき  
**松下 美紀**

【音楽（邦楽）】

わがくだん  
**和楽団ジャパンマーベラス**

### 福岡市民文化活動功労賞

市民文化を育てる諸活動に努め、潤いのあるまちづくりに貢献し、特にその功績が顕著な個人、団体を表彰することにより、市民文化活動の推進を図ります。

【制度創設】平成6年度（今年で第29回目）

【受賞者累計】33名24団体（令和3年度まで）

【受賞基準】地域に根ざした文化活動や、地域の文化団体等の支援と育成、また、国際的な文化の交流活動を通じて、本市の市民文化の振興に多年貢献したものの

#### 令和4年度受賞者

【国際的な文化の交流活動を通じた、相互理解や交流の促進】 **一般社団法人**

にほんこくさいぶんかきょうかいきゅうしゅう  
**日本国際文化協会九州センター**

【地域に根ざした文化活動】

ふくおか げきだんはかた  
**福岡ろう劇団博多**

ぶくおかじつこういんかい  
**BOOKUOKA実行委員会**

### 贈呈式

日時 **令和5年3月25日（土）11時～**

場所 **福岡アジア美術館「あじびホール」**（福岡市博多区下川端町3-1リバレインセンタービル8階）

#### <添付資料>

- ・別紙1）令和4年度福岡市文化賞・福岡市民文化活動功労賞の受賞者について
- ・別紙2）令和4年度福岡市文化賞・福岡市民文化活動功労賞の選考にあたって（総評）
- ・別紙3）福岡市文化賞・福岡市民文化活動功労賞功績者調書

#### 【問い合わせ先】

経済観光文化局文化振興課 横溝

（電話：092-711-4664 内線1801）

## 令和4年度福岡市文化賞・福岡市民文化活動功労賞の受賞者について

(敬称略)

## 【福岡市文化賞】



○ 坂口 信男 (さかぐち のぶお)

【能楽】

幼少期より能の稽古に励み、昭和25年5歳にて仕舞「鶴亀」で初舞台を踏み、昭和47年10月独立。能楽の普及や、次世代の能楽師育成に力を尽くすとともに、福岡市の文化の発展、振興に貢献している。



○ 松下 美紀 (まつした みき) 【生活文化 (照明デザイン)】

重要文化財の照明デザイン、国立公園や、まちの照明ガイドライン制作、文化施設や交通機関等の幅広い分野の光環境を創出。博多ライトアップウォーク総合監修など、福岡市の文化形成に寄与している。



○ 和楽団ジャパンマーベラス 【伝統芸能 (和太鼓)】

和太鼓を中心に、日本の古典楽器本来のスタイルを生かしながら、和楽の粋にとらわれないパフォーマンスを行い、国内外から高い評価を得ている。

## 【福岡市民文化活動功労賞】



○ (一社) 日本国際文化協会九州センター

【国際的な文化の交流活動を通じた、相互理解や交流の促進】

「福岡城・鴻臚館まつり」における「鴻臚館の宴 荒津の舞」の作舞・演出・出演や、留学生への日本舞踊の指導等を通じて、福岡の歴史・文化の継承や、国際的な文化交流を行っている。



○ 福岡ろう劇団博多 【地域に根差した文化活動】

演劇好きな聴覚障がい者と手話の会のメンバーにより結成され、これまで12回の自主公演を実施したほか、福岡を中心に九州各地で数多くの手話劇を公演している。



○ BOOKUOKA実行委員会

【ぶっくおかけっこういいんかい】 【地域に根差した文化活動】

フリーマーケット式の青空古本市「のきさき古本市 in けやき通り」の運営や、人気作家を招いてのトークショーの開催など、活字を通じてまちと人をつなぐコミュニティづくりを行っている。

## 令和4年度 福岡市文化賞・福岡市民文化活動功労賞の選考にあたって（総評）

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための様々な制限が緩和されはじめ、文化芸術分野の活動においても、次第に復調の兆しがみられる中での選考となった。

文化賞、市民文化活動功労賞の候補者の一般公募に応じて、演劇、舞踊、生活文化それぞれ1名・1団体、伝統芸能2名、吟剣詩舞、美術それぞれ1名、音楽、その他それぞれ1団体の、あわせて7名・5団体の推薦が寄せられた。

選考においては、まず事前選考として各選考委員が推薦書（主な活動歴・作品・受賞歴等）をもとに賞に相応しい候補者の検討を行い、選考委員会では各委員が推挙する候補者について評価理由を述べ、様々な角度から議論を行い合議制で受賞候補者の選考を行った。

文化賞は、福岡を中心に能公演を実施するとともに能楽体験教室での指導を行うなど、能楽の普及・振興に貢献している坂口信男さん（能楽師）、博多旧市街ライトアップウォークの総合監修として、照明を通して歴史的空間に現代アートを融合させるなど、照明デザインにおける草分け的存在として活躍している松下美紀さん（照明デザイナー）、福岡市を拠点に活動し、国際的にも高い評価を得ている和太鼓を中心としたプロのエンターテインメントチーム、和楽団ジャパニマーベラスの2名・1団体を選考した。

市民文化活動功労賞は、福岡城・鴻臚館まつりで長年にわたり「鴻臚館の宴 荒津の舞」の舞台演出、出演などを通して地域の歴史文化の継承に貢献している一般社団法人日本国際文化協会九州センター、演劇好きな聴覚障がい者と手話の会のメンバーにより結成し、聴覚障がいの方も楽しめる舞台づくりを目指して活動している福岡ろう劇団博多、「のきさき古本市 in けやき通り」を開催し、本を通して幅広い年代の人々の交流を創出するなど地域に根ざした文化活動を行っているブックウオカ実行委員会の3団体を選考した。

他の文化賞、市民文化活動功労賞の候補者もそれぞれに優れた活動実績が認められたものの、総合評価の結果、今一步及ばなかった。

最後に、受賞された皆様をはじめ、今回候補者として推薦された皆様の今後ますますのご活躍を祈念するとともに、引き続き福岡市の文化の向上発展と市民文化の育成にご尽力いただくことを期待している。

福岡市文化賞・福岡市民文化活動功労賞 選考委員会

## 選考委員（五十音順、敬称略）

岩熊 正道（RKB毎日放送株式会社代表取締役専務取締役）	松隈 浩之（九州大学大学院芸術工学研究院准教授）
大塚 ムネト（ギンギラ太陽's 主宰）	光行 洋子（九州産業大学名誉教授）
柴田 淳司（福岡市文化芸術振興財団専務理事）	山本 百合子（福岡教育大学准教授）
古賀 透（福岡県文化団体連合会調査役）	吉田 由布子（福岡教育大学名誉教授）
深町 健二郎（音楽プロデューサー）	龍 秀美（詩人）

## 福岡市文化賞功績調書

*部 門 能楽		
氏名	生年	住所
坂口 信男	昭和20年 (78歳)	福岡市

観世流能楽師 (名誉職分)。幼少期より能の稽古に励み、昭和25年、5歳にて仕舞「鶴亀」で初舞台を踏み、昭和47年10月独立。

昭和32年、12歳にして大曲「石橋」を抜く。内弟子修行を経て、昭和49年、29歳で独立記念公演「道成寺」を抜く。平成13年、56歳で「卒都婆小町」を抜く。

※「抜く (ひらく)」… 能楽師が、ある曲 (大曲や難曲) をはじめて演ずること。

日本の伝統文化である能楽の普及や、次世代の能楽師育成に力を尽くすとともに、福岡市の文化の発展、振興に貢献。

昭和61年、重要無形文化財総合保持者認定。

**【これまでの主な公演】**

よかトピア 能公演 「石橋」  
福岡ドーム 能公演 「吉野天人」  
上海万博 能公演 「石橋」  
アジア美術館 能公演 「猩々」  
市役所 (ロビー) 能公演 「猩々」

**【主な役職歴】**

昭和61年 福岡観世会設立理事  
昭和62年 能楽協会九州支部 初代副支部長

## 福岡市文化賞功績調書

*部 門 生活文化（照明デザイン）		
氏名	生年	住所
松下 美紀	昭和36年（62歳）	福岡市
<p>照明デザイナー。公立大学福岡女子大学大学院修了。博士（人間環境科学）。 1989年、松下美紀照明設計事務所設立。</p> <p>日本全国のプロジェクトへ参画し、重要文化財の照明デザイン、国立公園や、まちの照明ガイドライン制作、教育施設、文化施設、医療施設、交通機関から商業施設まで幅広い分野の光環境を創出している。1993年より、タイ、韓国、中国、台湾など福岡を中心に約4,000km圏内のアジア諸国における照明デザインも数多く手掛ける。また、照明デザインに関するアドバイザー、審議会委員、大学の客員教授・講師を務める。</p> <p><b>【主な作品・受賞歴】</b></p> <p>平成25年 福岡市都市景観賞 活動賞・市民賞 （博多旧市街ライトアップウォーク）</p> <p>平成29年 福岡市都市景観賞 大賞・照明学会 照明デザイン賞 優秀賞 （西南学院大学図書館）</p> <p>令和元年 照明学会 照明普及賞（福岡市美術館）</p> <p>令和3年 照明学会 照明デザイン賞 優秀賞（銀座駅リニューアル）</p> <p><b>【主な活動】</b></p> <p>博多旧市街ライトアップウォーク 総合監修 博多コネクティッドボーナスアドバイザー 天神ビックバンボーナスアドバイザー 福岡市地下鉄デザイン委員会 委員 福岡女子大学 客員教授 山口大学工学部理工学研究科 非常勤講師</p>		

## 福岡市文化賞功績調書

*部 門 伝統芸能 (和太鼓)		
氏名	結成年	所在地
和楽団ジャパンマーベラス	平成21年 (14年)	福岡市
<p>和太鼓を中心としたプロのエンターテインメントチーム。日本の古典楽器本来のスタイルを生かしながら、古典楽器の可能性を追求すべく和楽の枠にとられないパフォーマンスを行い、好評を得ている。</p> <p>また、小・中学校、高等学校、特別支援学校においてスクールコンサートを行い、和太鼓の実演や体験、ワークショップにより、和楽器の歴史・文化を伝える活動を行っている。</p> <p><b>【受賞歴】</b></p> <p>平成26年 イギリス「エディンバラ・フェスティバル・フリンジ」にて2年連続の最高評価の5スター獲得、スリーウィークス・エディターズ・アワード受賞 (舞台作品賞)</p> <p>平成29年度 第25回福岡県文化賞奨励部門受賞</p> <p>平成30年 イギリス「エディンバラ・フェスティバル・フリンジ」にて3度目となる最高評価の5スター獲得</p> <p><b>【主な公演実績】</b></p> <p>平成29年 ヤンゴン市 (ミャンマー) で開催されたFukuoka Yangon Festival において和太鼓の公演を開催</p> <p>令和元年 G20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議のレセプションにて演奏</p> <p>令和元年 ラグビーワールドカップ フランス対アメリカ戦、アイルランド対サモア戦のオープニング演奏</p> <p>令和4年 スイスツアー (ローザンヌ・オペラ座/モンリッシュェ/ジュネーブ公演)</p>		

## 福岡市民文化活動功労賞功績調書

*部 門	国際的な文化の交流活動を通じた、相互理解や交流の促進	
団体名	設立	所在地
一般社団法人 日本国際文化協会 九州センター	平成8年(26年)	福岡市
<p>「福岡城・鴻臚館まつり」において、「鴻臚館の宴 荒津の舞」を作舞・演出・出演し、出演者となる地域住民や留学生への指導を行っている。</p> <p>また、次世代への継承・発展と、日本舞踊を通して国際文化交流を図ることを目的として、市内在住の留学生による日本舞踊の体験発表会を行うとともに、著名な舞踊家を招聘し、地元舞踊家との共同による新作舞踊を発表する「国際文化交流日本舞踊の会(愛称:国際文化交流 鯉の会)」を実施している。</p> <p>一般社団法人日本国際文化協会九州センターは、地域活性と国際交流を目的に、昭和42年から開始されている「国際文化交流日本舞踊の会」と、昭和44年から実施されている「鴻臚館の宴 荒津の舞」を引き継いで実施し、福岡の歴史・文化の継承や、市民の国際的な交流の促進に寄与している。</p>		

## 福岡市民文化活動功労賞功績調書

*部 門 地域に根差した文化活動		
団体名	設立	所在地
福岡ろう劇団博多	平成4年（31年）	福岡市
<p>平成4年2月、演劇好きな聴覚障がい者と手話の会のメンバーが集まり、「福岡市ろう劇団博多」を結成。平成10年に、「福岡ろう劇団博多」に改称。</p> <p>当時はまだ字幕付きのテレビ番組も少なく、「聴覚障がい者にも文化や娯楽を」という切実な願いと、「自分たちで舞台を作る楽しさを味わいたい」という思いを込めて活動を開始。</p> <p>現在もその思いを引き継ぎつつ、「聴覚障がい者の文化を広く一般の方々にも知ってもらいたい」と活動を続けている。これまで12回の自主公演を実施したほか、福岡を中心に九州各地で数多くの手話劇を公演。</p> <p>聞こえない人も聞こえる人も楽しめる舞台をテーマに、新しい表現方法を追求してきており、令和5年1月には、団員が九州で初となる舞台手話通訳に取り組むなど、福岡市の文化意識の向上に貢献している。</p>		



## 福岡市民文化活動功労賞功績調書

*部 門 地域に根差した文化活動		
団体名	設立	所在地
BOOKUOKA実行委員会	平成18年 (17年)	福岡市
<p>福岡の書店、出版社の有志やライターで構成される実行委員会。</p> <p>毎年秋に、同会のメインイベント「のきさき古本市 in けやき通り」(フリーマーケット式の青空古本市)を開催。令和4年で17年目を迎え、子どもから年配の方まで幅広い世代が本を通して交流する、地域の人気イベントとなっている。</p> <p>また、県内の複数の参加書店の一角で行う横断型の共同フェアや、人気作家を招いてのトークショー、男性 (パパ) による絵本の読み聞かせなど、質の高いイベントを主催し、好評を得ている。</p> <p>本を通じて、まちと人をつなぐコミュニティづくりを行い、地域に根ざした文化振興に大きく貢献している。</p> <p><b>【受賞歴】</b></p> <p>平成29年度 第25回福岡県文化賞社会部門 受賞</p>		